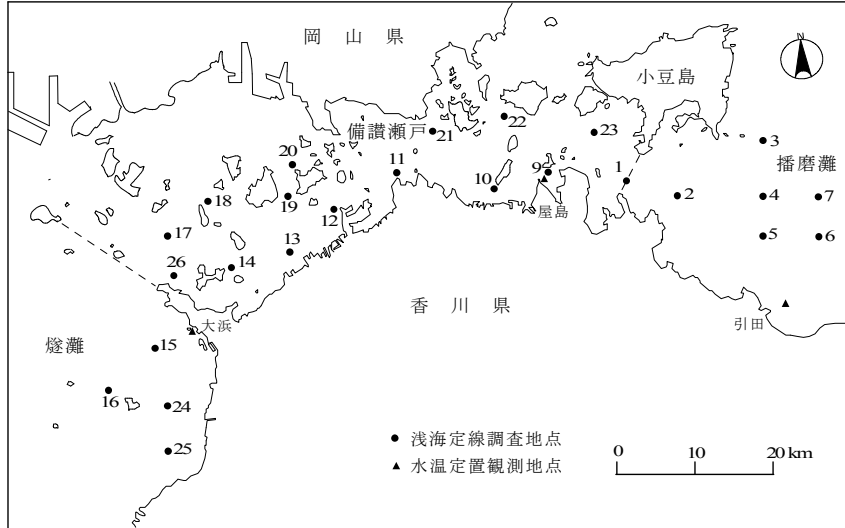


香川県漁海況情報 平成24年2月 (H23-11号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成24年2月3日 (播磨灘), 6日 (備讃瀬戸, 燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや低めから平年並み」、塩分は「かなり低めからやや低め」、透明度は「やや低めからやや高め」、溶存酸素は「平年並みからやや高め」であった。

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	8.7	8.7	8.8	31.7	31.7	31.8	9.1	6.45	6.39
	平年値	9.3	9.3	9.2	32.7	32.7	32.8	8.9	6.42	6.35
	平年偏差	-0.6	-0.5	-0.4	-1.0	-1.0	-0.9	0.2	0.03	0.04
	標準偏差(σ)	0.9	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	1.7	0.32	0.31
	状 況	やや低め	平年並み	平年並み	かなり低め	かなり低め	かなり低め	平年並み	平年並み	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	8.9	8.9	8.9	32.3	32.3	32.3	6.9	6.56	6.52
	平年値	9.1	9.1	9.1	32.8	32.8	32.8	6.0	6.38	6.38
	平年偏差	-0.3	-0.2	-0.2	-0.5	-0.5	-0.5	0.9	0.18	0.14
	標準偏差(σ)	0.9	0.9	0.9	0.6	0.6	0.6	1.4	0.30	0.31
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	やや高め	やや高め	平年並み
燧 灘	4地点平均値	9.8	9.8	9.8	32.5	32.6	32.6	6.6	6.49	6.43
	平年値	9.9	9.9	9.9	33.0	33.0	33.1	7.5	6.52	6.47
	平年偏差	-0.1	-0.1	-0.1	-0.4	-0.5	-0.5	-0.9	-0.03	-0.04
	標準偏差(σ)	0.8	0.9	0.9	0.5	0.5	0.5	1.2	0.35	0.39
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年（1973）1月～平成13年（2002）12月

溶 存 酸 素：昭和48年（1973）2月～平成13年（2002）12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

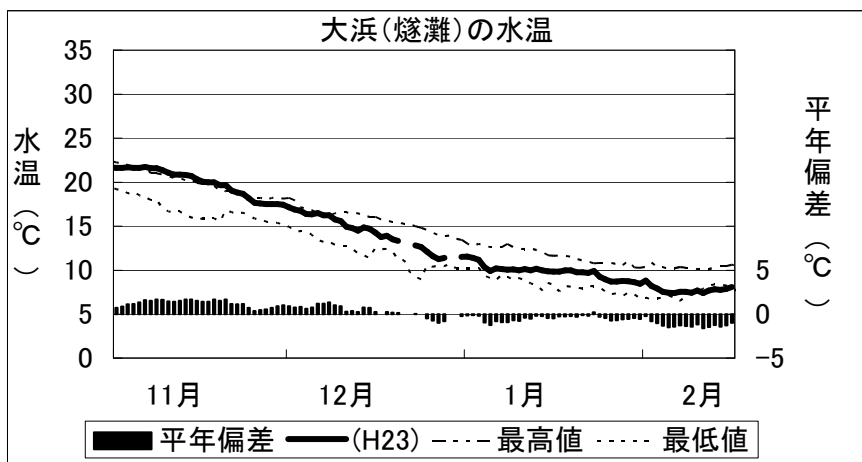
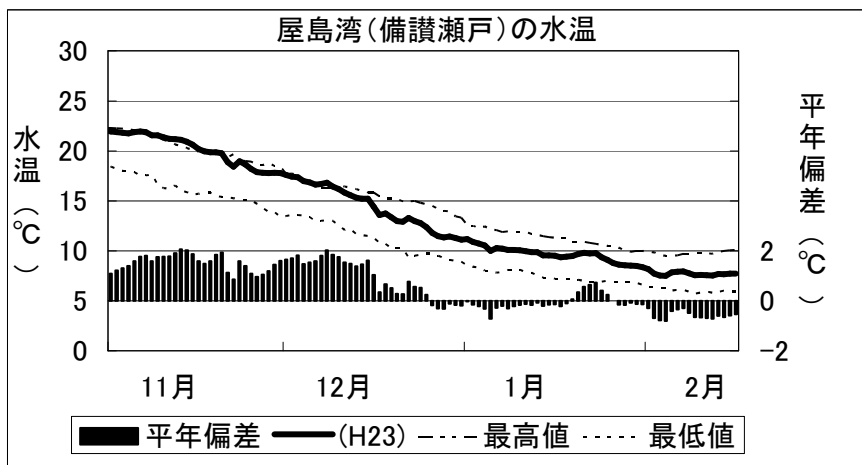
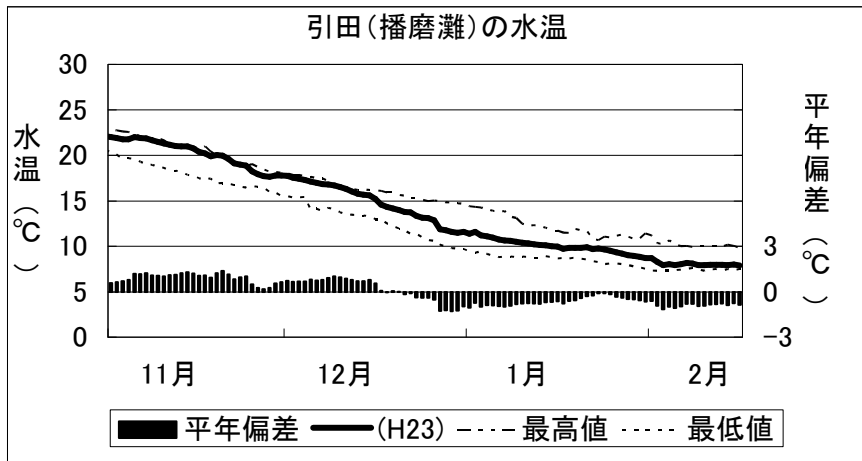
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田)： 11月はやや高めからかなり高め、12月はかなり高めからやや低め、1月はやや低め、2月はかなり低めで推移している。(11月に5回、12月に1回、過去最高値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島)： 11月はやや高めから著しく高め、12月は著しく高めから平年並み、1月は概ね平年並み、2月は平年並みからやや低めで推移している。(11月に12回、12月に4回、過去最高値を更新。)

燧灘 (大浜)： 11月はやや高めから著しく高め、12月はかなり高めからやや低め、1月はやや低めから平年並み、2月はやや低めから著しく低めで推移している。(11月に17回、12月に2回、過去最高値を更新。2月に6回、過去最低値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜：平成元(1989)～平成22(2010)年
屋島：昭和50(1975)～平成22(2010)年



4) 赤潮 (1月26日～2月20日)

播磨灘：1月10日に播磨灘全域で確認された *Eucampia zodiacus* による赤潮および2月15日に播磨灘南西部で確認された *Noctiluca scintillans* による赤潮は現在も継続中である。
 備讃瀬戸：発生なし。
 燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成24年2月3日 (播磨灘), 6日 (備讃瀬戸, 燧灘)

出現量

－：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

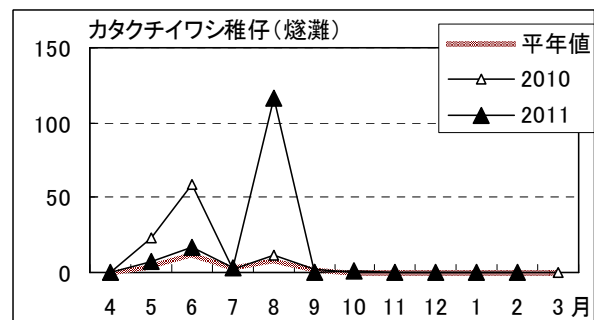
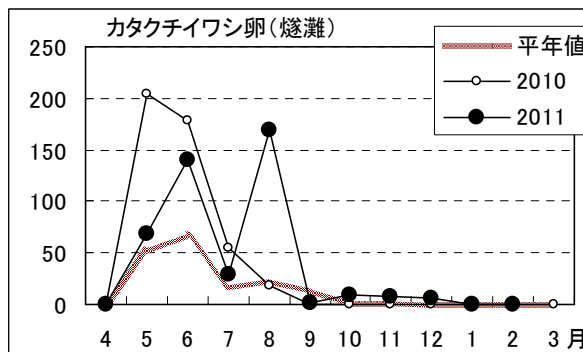
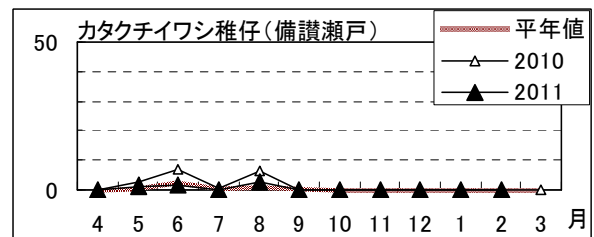
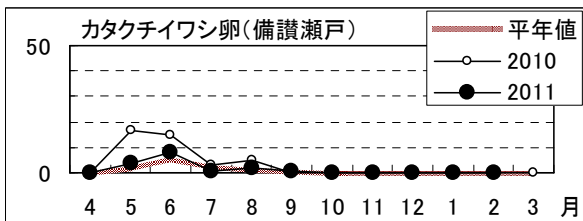
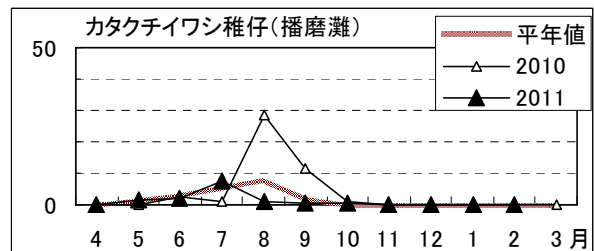
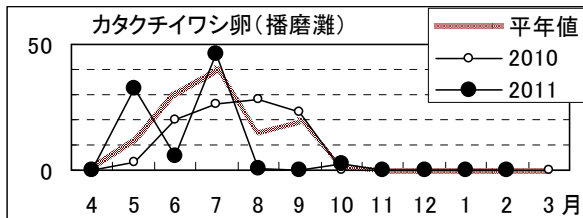
カタクチイワシ：昭和55(1980)年度～平成22(2010)年度

マイワシ：平成6(1994)年度～平成22(2010)年度

イカナゴ：昭和56(1981)年度～平成22(2010)年度

マイワシの卵・稚仔は、平成14年度以降、確認されておりません。

		カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	1.5
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3		
	対平年(%)	－	－	－	0	－	48		
備讃瀬戸	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.3
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	2.0		
	対平年(%)	－	－	－	0	－	29		
燧灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
	平年値	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	1.0		
	対平年(%)	－	－	－	0	－	0.0		
総平均	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.7
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	2.2		
	対平年(%)	－	－	－	0	－	35		



2. 漁況

1) 1月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網ではスズキ、シロギス、メイタガレイ、ウシノシタ類、マアナゴ、小エビ類、アカニシなどが漁獲されている。</p> <p>柵網ではクロダイ、キチヌ、マアジ、シログチ、マコガレイ、ウマヅラハギなどが漁獲されている。</p> <p>建網ではメバル、カサゴなどが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網ではマダイ、クロダイ、スズキ、シロギス、タチウオ、ヒラメ、メイタガレイ、ウシノシタ類、マアナゴ、フグ類、アカエイ、イイダコ、アカニシなどが漁獲されている。イイダコは依然、平年より少ない。</p> <p>建網ではマダイ、クロダイ、スズキ、メバル、カサゴなどが漁獲されている。</p> <p>柵網ではクロダイ、スズキ、ボラなどが漁獲されている。</p>
隧 灘	<p>底びき網ではスズキ、オニオコゼ、ネズッポ類、コチ類、メイタガレイ、イヌノシタ、フグ類（コモンフグ、ナシフグ）、ガザミ、シャコ、シラサエビ、小エビ類などが漁獲されている。</p> <p>建網ではメバル、カサゴ、マコガレイなどが漁獲されている。</p>

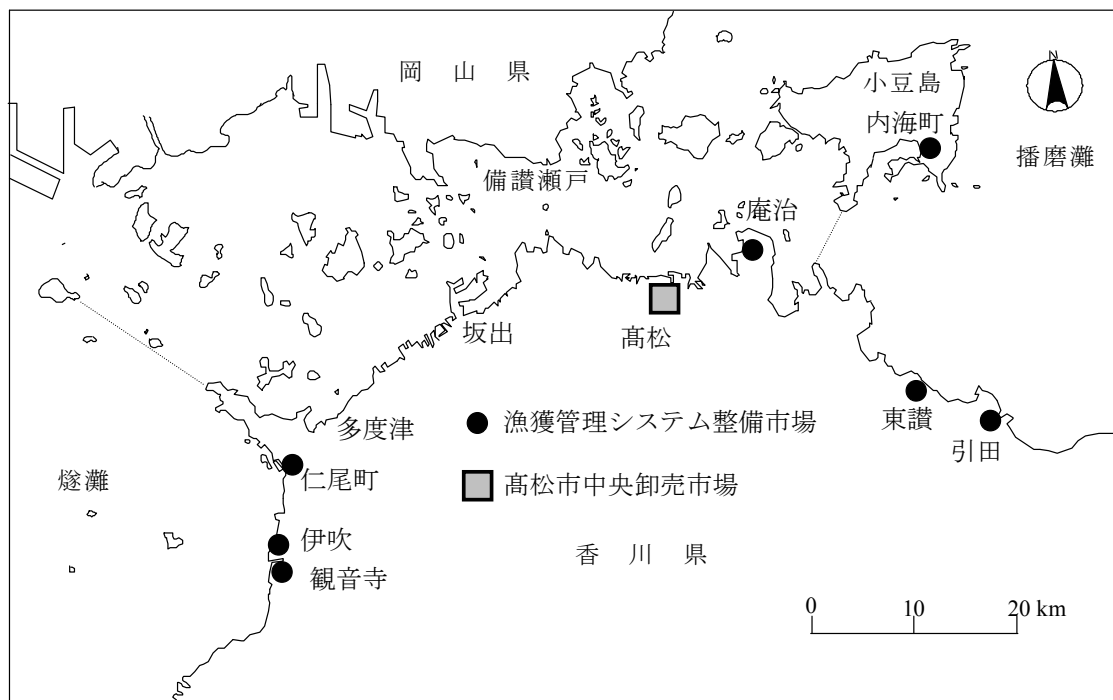
2) 香川県の漁獲情報

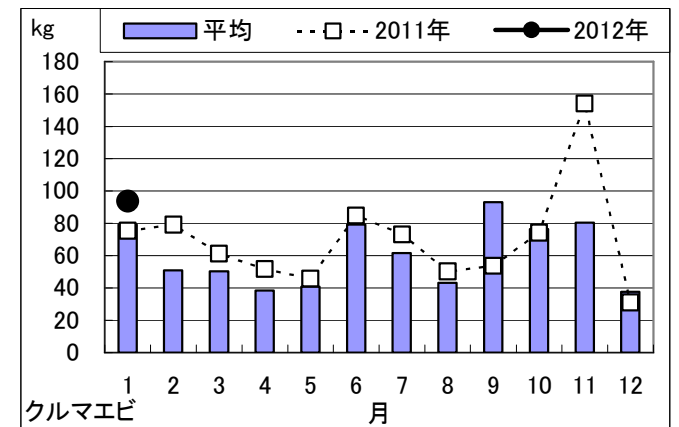
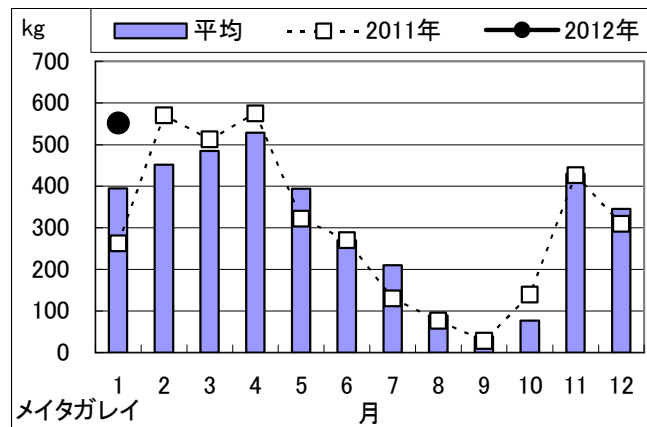
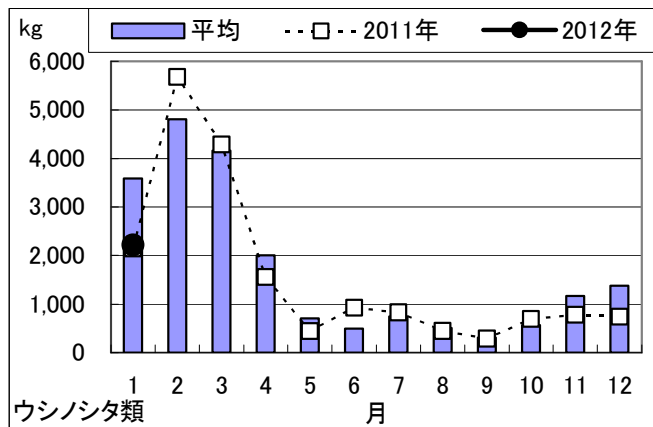
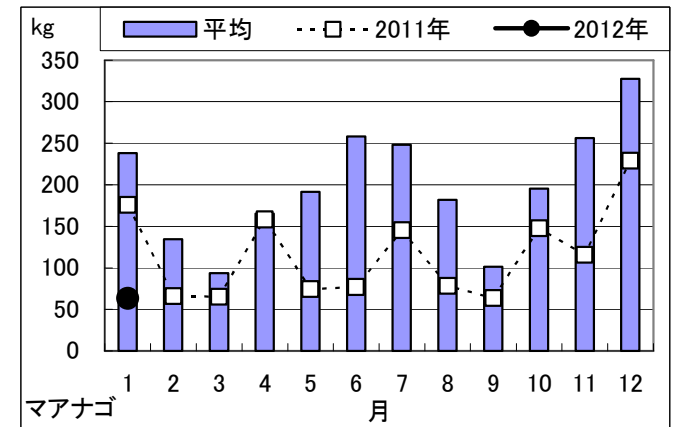
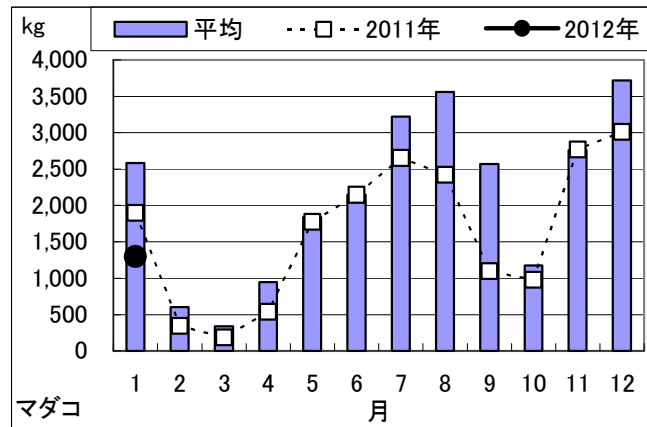
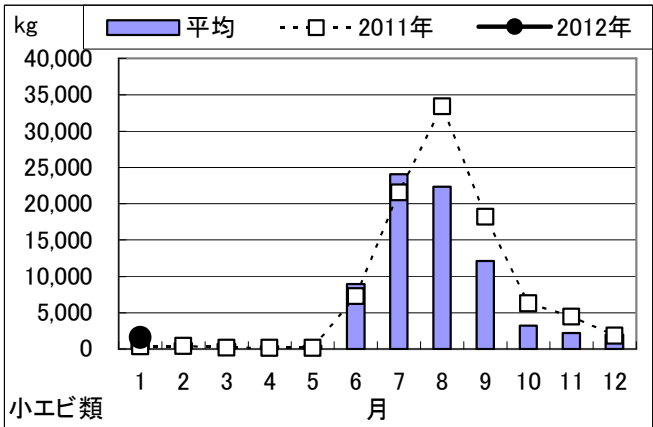
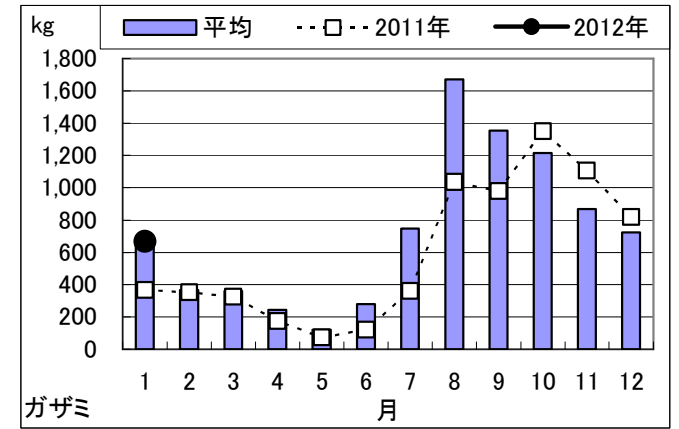
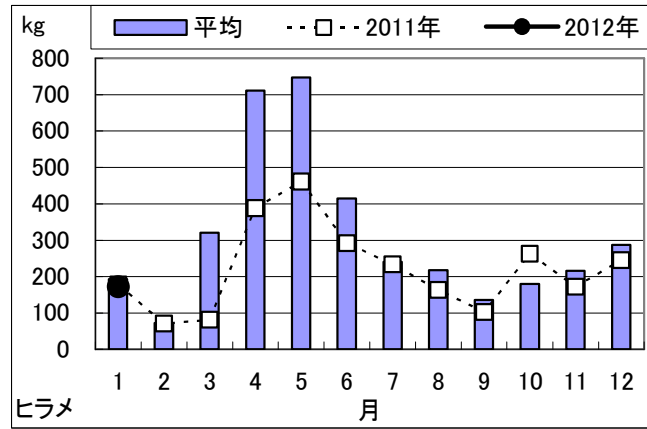
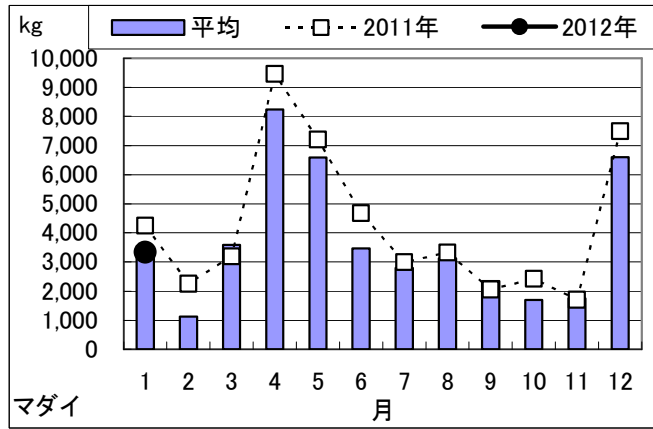
(1) 漁獲管理（TAC）システムデータ

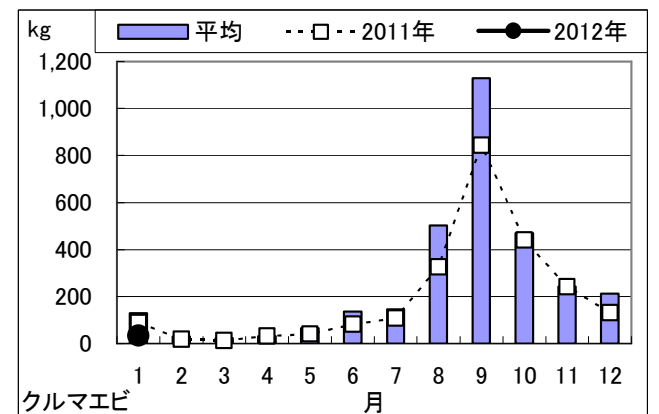
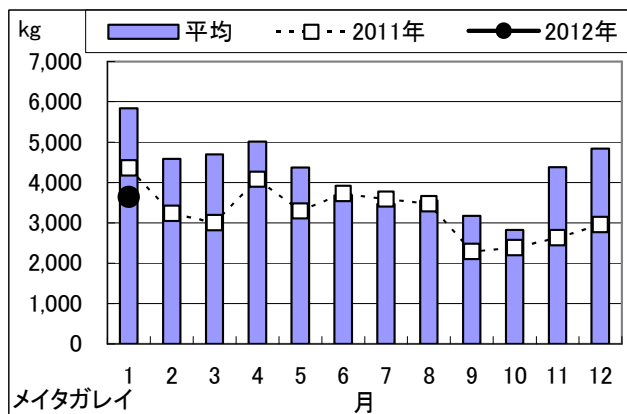
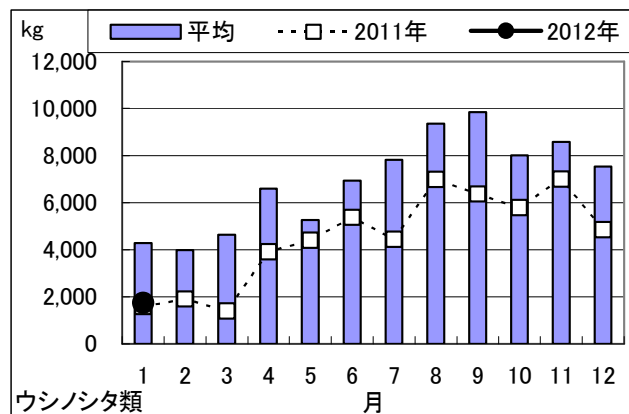
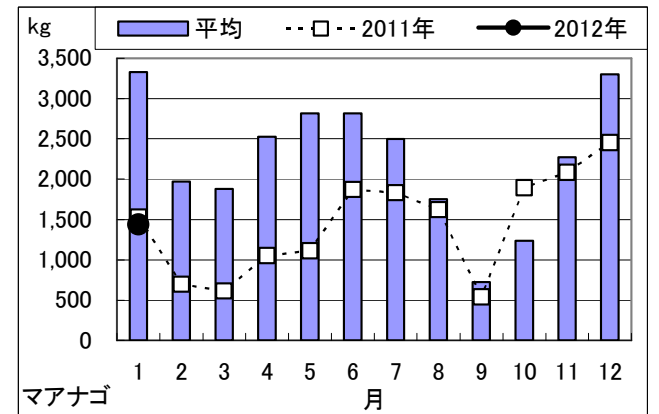
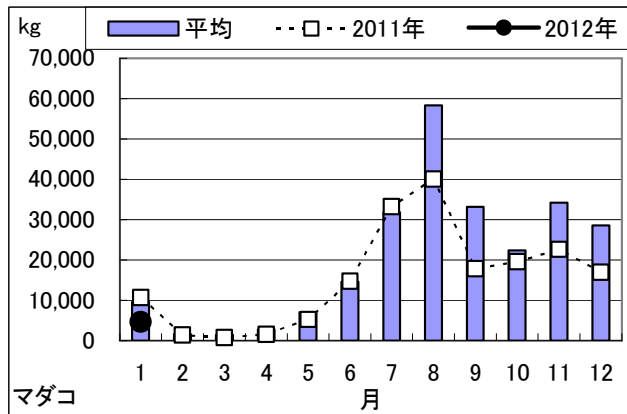
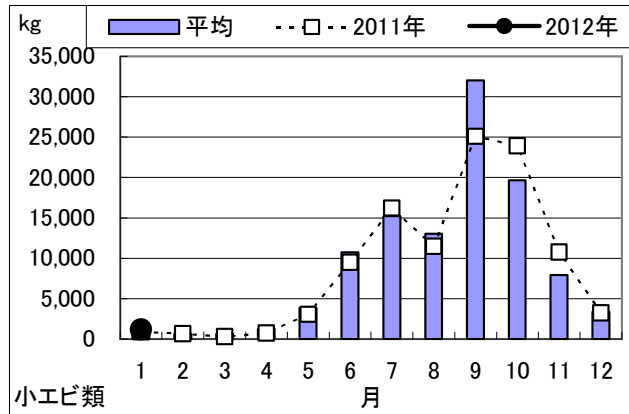
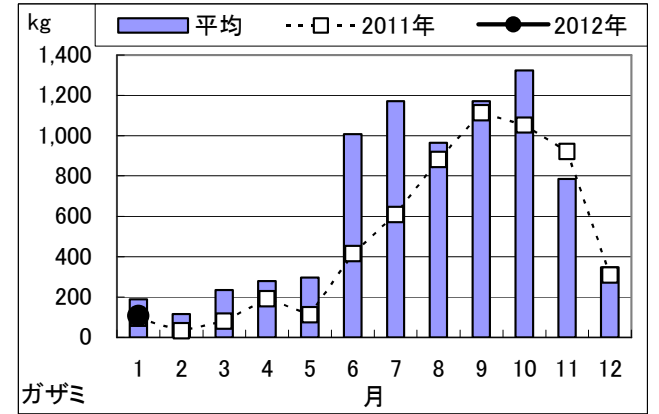
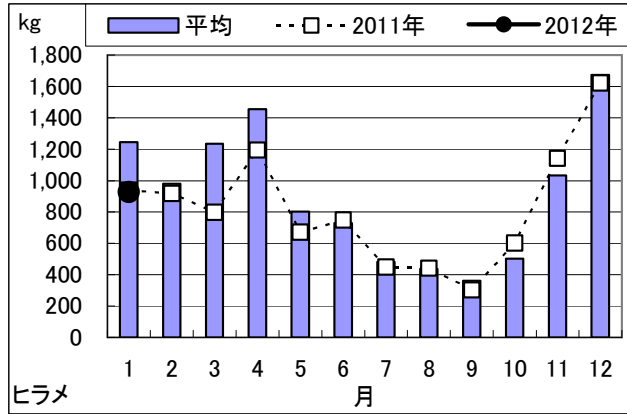
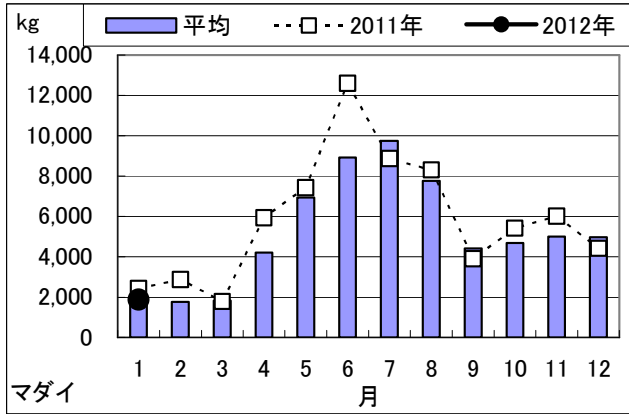
日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした全国システムで、本県では以下の産地市場に整備されています。

(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物（香川県全体から集荷されている）について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したものです。

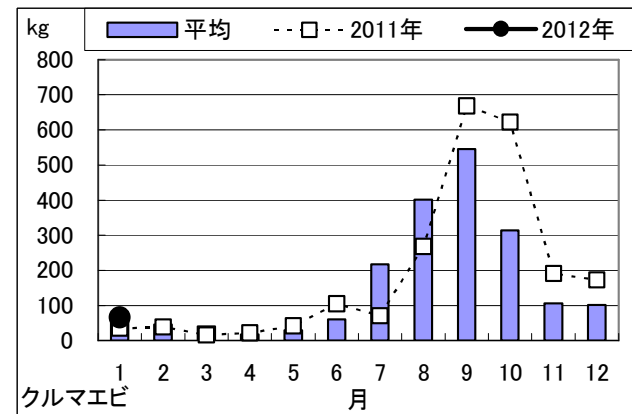
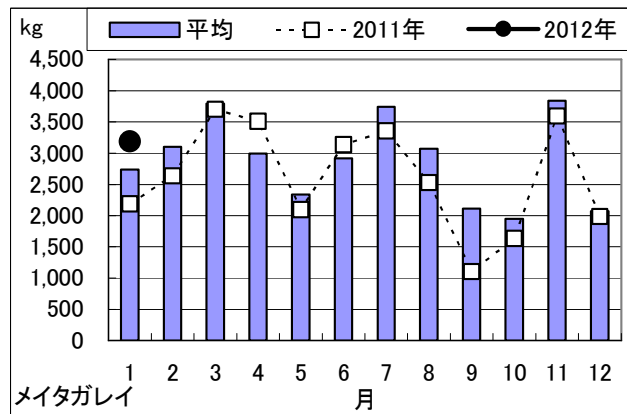
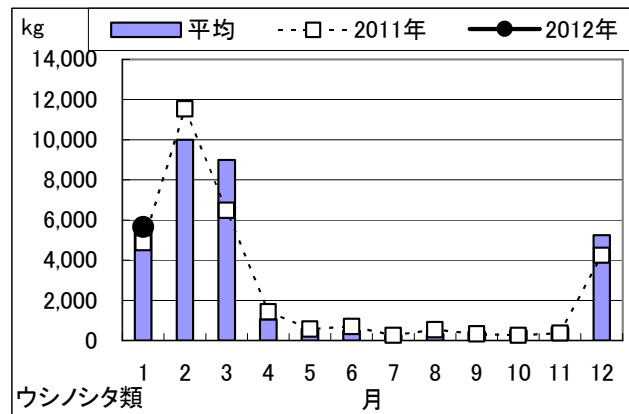
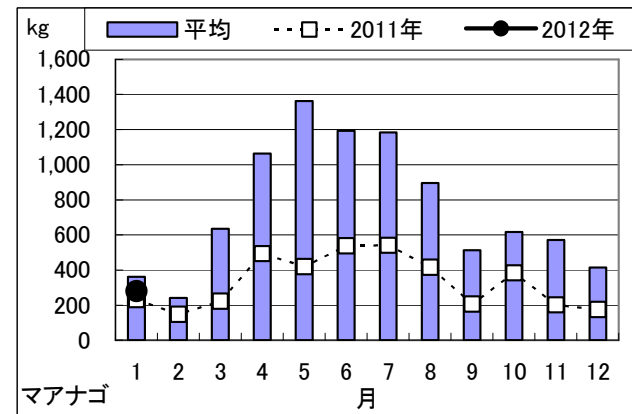
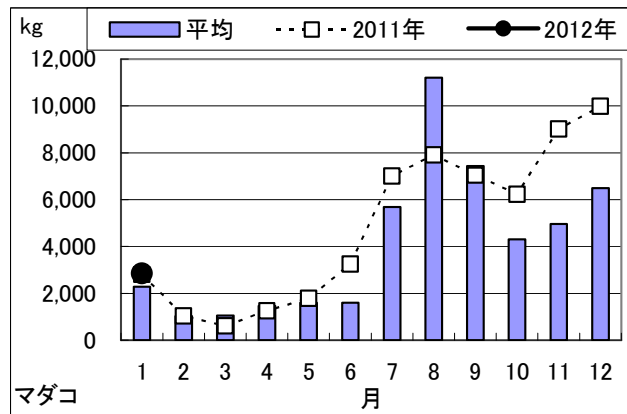
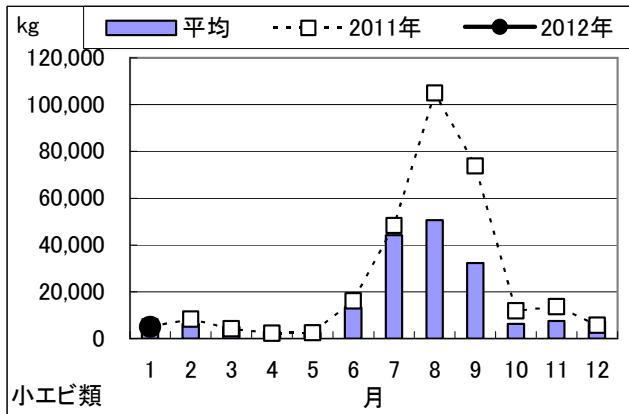
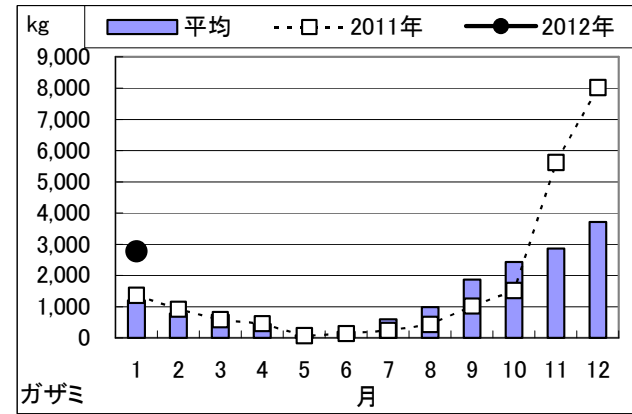
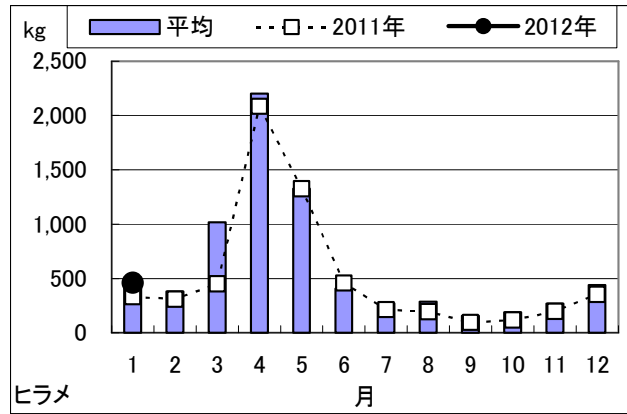
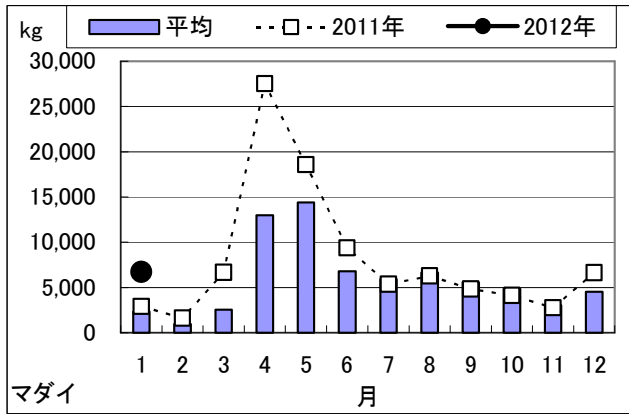






燧灘（仁尾町、観音寺、伊吹）のTACデータより

平均値は、2007年から2011年の5年間の平均。



高松市中央卸売市場データ（県内ものの鮮魚：東讃・小豆・三豊地区も含む）より

平均値は、2006年から2010年の5年間の平均。

